



中心市街地がアート空間に!

岐阜 おおがきビエンナーレ2010

9月22日(水)~26日(日) 駅通り周辺一帯
午後1時~6時(土・日曜日、祝日は午前11時~)

入場
無料

大垣市で隔年に開催される国際的なメディアアートフェスティバル「岐阜おおがきビエンナーレ」。

4回目となる今年は、「温故地新」を全体テーマとして、多彩な作品展示や催しが行われます。入場はすべて無料。テクノロジーを駆使した芸術作品をお楽しみください。

ビエンナーレとは、イタリア語で2年に1度行われる展覧会や美術展。「岐阜おおがきビエンナーレ」は、IAMAS(情報科学芸術大学院大学/県立国際情報科学芸術アカデミー)と県・市が主催する芸術の祭典です。

今回のテーマは「温故地新」。大垣の土地や、そこで育まれてきた芸能や産業などに、最先端のテクノロジーを掛け合わせるにより、見慣れた「地」に新たな発見をもたらします。

大垣の生んだ賢者・飯沼慾齋を紹介する企画や海外からアーティストを招いての展示、シンポジウム、ワークショップ、コンサートなど多彩な催しを、多目的交流イベントハウス(郭町2)を中心に開催します。

また、9月23日には、郭町を中心とした駅通りを歩行者天国にし、「大垣まちなか舞台」を開催します。交通規制の詳細は、9月15日号でお知らせします。

◆シンポジウム/アーティストトーク

おおがきビエンナーレ基調講演「土地の力を借りて、心と地域を耕す」

- 9月22日(水) 午後4時~5時30分
- 多目的交流イベントハウス
- 京都大学こころの未来研究センターの鎌田東二教授による講演

アーティストトーク「Product as New Art-温故地新」

- 9月23日(木・祝) 午後1時~2時30分
- 特設ギャラリーA、B(郭町2)
- 国内外からの招へい作家による自作品前でのトーク

飯沼慾齋シンポジウム「科学者になった芸術家」

- 9月26日(日) 午後4時~5時30分
- 多目的交流イベントハウス
- 慾齋研究会の遠藤正治さんほかによるシンポジウム



岐阜
おおがき
ビエンナーレ
OGAKI BIENNALE 2010



全体テーマ「温故地新」をデザインしたチラシ

◆ワークショップ(申込受付中) 色色【いろいろ】ハンター

- 9月23日(木・祝) 午後2時~5時
- 多目的交流イベントハウス
- 「色」の写真を集めて、新たな写真作品を作る

CCCity Remix

- 9月23日(木・祝) 午後3時15分~4時45分
- IAMASOS(高屋町1)
- 街の風景や音を記録し、それらの変化を体験する

空間アルゴリズム@岐阜おおがきビエンナーレ「かいじゅうどうぶつえんをつくろう！」

- 9月25日(土) 午前11時~午後1時、正午~午後2時 9月26日(日) 午後1時~3時、午後2時~4時
- まちづくりプラザ
- 自分で描いた怪獣を「セカイ

カメラ」を用いて拡張現実空間の大垣の街に解き放つ

◆パフォーマンス/コンサート 大垣まちなか舞台

- 9月23日(木・祝) 午後5時~7時
- 多目的交流イベントハウス前
- 野外舞台・路上で演奏や踊りなどのパフォーマンス

OOPS! - Open Ogaki Planetarium Session

- 9月25日(土) 午後2時~6時
 - スイトピアセンターコスモドーム
 - プラネタリウムでの星空の投影の下でのコンサートや展示
- 詳しくは、ホームページ(<http://www.iamas.ac.jp/biennale10/>)をご覧ください、IAMAS産業文化研究センター(☎75-6606)へ。

Make: Ogaki Meeting

入場
無料

「Make:」とはものづくりを行っている作り手が、自作の電子回路や楽器などの実演、展示を行うイベントです。レーザーを使った電子楽器、iPhoneでコントロールするロボット=写真=など、100以上の出展物が大垣に集結します。

実際に触れて、ものづくりの楽しさを体験してください。

- ◇とき/9月25日(土) 正午~午後6時、26日(日) 午前10時~午後6時
- ◇ところ/ソフトピアジャパンセンタービル3階ソピアホール
- ◇問合せ/Make: Ogaki Meeting実行委員会(☎75-6606, <http://www.makeogakimtg.org>)へ



小学生親子 ものづくり体験講座

市は、「Make: Ogaki Meeting」に合わせ、ものづくりを体験する講座を開催します。参加無料で、定員は親子30組(抽選)です。

◇対象/市内在住の小学3~6年生と保護者
◇とき/9月25日(土) 午前10時~午後3時15分

- ◇ところ/情報工房5階スィンクホール
- ◇内容/力の伝わり方の違いによる速度の変化などを体験しながら、自動車工作をする
- ◇持ち物/昼食と単2形乾電池2本
- ◇申込/往復はがきに、親子氏名・住所・学校名・学年・電話番号を記入し、9月17日(必着)までに、産業振興室(〒503-8601 丸の内2-29 内線229)へ